

「アラスカ」カラ布哇ト巴奈馬トニ至ル迄ノ米國ノ防備線ヲ破ル
ニハ、日英ノ聯合艦隊ヲ以テシテモ不可能テアルカラ、是等ノ線
ヲ防禦スル限リ、米國ハ海軍ヲ擴張スル必要カナイ。然シ支那ニ
於ケル米國ノ權益ヲ保護シヨウト云フ積リナラ、米國ノ現海軍力
ヲ二倍ニシテモ足リナイタラウ。米國人ハ夫レ故世界ニ於ケル米
國ノ權益及地位ヲ保持スルニハ、軍備擴張ヨリモ經濟的ナ手段ヲ
執ルコトヲ望ンテ居ル。即チ積極的ニハ關稅引下ニ依リ、消極的
ニハ經濟的封鎖ニ依ツテ之ヲ實行スルコトテアル（二十九日クリ
スチャン・サイエンス・モニター紙）

△軍備擴張ヨリ經濟的手段テ

「アラスカ」カラ布哇ト巴奈馬トニ至ル迄ノ米國ノ防備線ヲ破ル
ニハ、日英ノ聯合艦隊ヲ以テシテモ不可能テアルカラ、是等ノ線
ヲ防禦スル限リ、米國ハ海軍ヲ擴張スル必要カナイ。然シ支那ニ
於ケル米國ノ權益ヲ保護シヨウト云フ積リナラ、米國ノ現海軍力
ヲ二倍ニシテモ足リナイタラウ。米國人ハ夫レ故世界ニ於ケル米
國ノ權益及地位ヲ保持スルニハ、軍備擴張ヨリモ經濟的ナ手段ヲ
執ルコトヲ望ンテ居ル。即チ積極的ニハ關稅引下ニ依リ、消極的
ニハ經濟的封鎖ニ依ツテ之ヲ實行スルコトテアル（二十九日クリ
スチャン・サイエンス・モニター紙）

△在外米權益ト軍備ノ輕重

國際問題ヲ處理スルニ當ツテ、一國ノ勢力ヲ示ス第一條件ハ、軍
備力對象テハナク、其ノ國ノ外交政策ノ明確サ如何ニアル。現在
侵略的國家カ世界ニ蔓ツテ居ルノハ、軍備及兵力ノ不足カラテハ
ナク、各國カ確乎タル政策ヲ執ラナカツタカラテアル。米國ハ外
敵侵入ヲ防クニハ、現在既ニ必要以上ノ軍備ヲ有ツテ居ルカラ、
ク

七〇、益隆の論争の経過を詳説せしむるべく、米國ハ提
 對制の國家の出世ニ當りて其の國ハ、米國の利益ニ對シテハ
 對制の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ

△米國ニハ聯盟ノ面子ヲ立テル使命ナシ
 「ゼネヴァ」カラノ報道ニ依レハ、英佛三國政府ハ聯盟ノ面子ヲ
 立テ、米國ノ利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ
 對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ對シテハ、米國の利益ニ

△對内對日的ニ「ボイコット」ハ不利
 米國人カ日本品殊ニ絹ヲ「ボイコット」スレハ、日本ノ一般民衆
 ニ大キナ痛手ヲ負ハセルコトトナラウカ、其ノ結果ハ却ツテ米國
 人ニ對スル反感ヲ強メ、反米輿論ノ統一ヲ來シテ日本民衆カ主戰
 論者ヲ更ニ強ク支持スル様ナ逆效果ヲ生シヨウ。従ツテ勢ヒ米國
 人極東ノ戰爭ニ引込ム様ナ重大事態ヲ惹起スルカモ知レナイ。一
 方米國內ニ於テハ此ノ「ボイコット」ニ依ツテ絹織物業ニ從事ス
 ル十二萬ノ勞働者ト其ノ家族ヲ犠牲ニスルコトトナラウ（卅一日
 ブルツクリン・デイリー・イーグル紙）

△軍團懸絶ニテ韓獨印半島ヲ
 今度ノ軍擴ハ外國ニ於ケル米國權益ヲ擁護スル爲タラウト考ヘル
 者カアルカモ知レヌカ、軍擴迄シテ保護スル程ノ權益ヲ米國カ持
 ツテイルトハ斷言テキナイ（卅一日ニューヨーク・ヘラルド・ト
 リビューン紙ドロシー・トムソン評）
 △對内對日的ニ「ボイコット」ハ不利
 米國人カ日本品殊ニ絹ヲ「ボイコット」スレハ、日本ノ一般民衆
 ニ大キナ痛手ヲ負ハセルコトトナラウカ、其ノ結果ハ却ツテ米國
 人ニ對スル反感ヲ強メ、反米輿論ノ統一ヲ來シテ日本民衆カ主戰
 論者ヲ更ニ強ク支持スル様ナ逆效果ヲ生シヨウ。従ツテ勢ヒ米國
 人極東ノ戰爭ニ引込ム様ナ重大事態ヲ惹起スルカモ知レナイ。一
 方米國內ニ於テハ此ノ「ボイコット」ニ依ツテ絹織物業ニ從事ス
 ル十二萬ノ勞働者ト其ノ家族ヲ犠牲ニスルコトトナラウ（卅一日
 ブルツクリン・デイリー・イーグル紙）